

**SSKP** <精神に障害のある方の気軽な相談場所・交流の場>



**地域生活支援センターあさやけ通信**

**「風」**

社会福祉法人ときわ会 地域生活支援センターあさやけ

〒187-0031 小平市小川東町 4-2-1 小平元気村おがわ東 1 階  
TEL(相談用)042-345-1741 (事務用)042-345-2077  
FAX 042-345-1734  
E-mail kaze1741@asayake.or.jp  
ホームページ [http://www.asayake.or.jp/center\\_asayake.html](http://www.asayake.or.jp/center_asayake.html)



**11月号**

## 「社会的入院をなくしていきたい」に注目

10月1日に東京地裁で行われた、国家賠償請求訴訟の判決があり原告の請求が棄却された。

原告の伊藤さんは10代で統合失調症と診断され、合計40年以上も精神科病院に入院させられてきた。東日本大震災で福島県の病院が被災し、茨城県の病院に転院。それを機に主治医から「入院の必要な症状ではない」と退院を勧められ、グループホームを経て、今は群馬県で1人暮らし。精神疾患の患者らに地域で暮らす自由と喜びを伝える「ピアサポート」の活動を続けている。伊藤さんは自分と同じ「社会的入院をなくしたい」一心で、国賠訴訟の原告に立つと決めた。

訴訟のポイントとなるのは、長期入院は国が隔離収容政策を改めなかった不作為によるものだとし、「憲法が求めている幸福追求権や法の下での平等に反する」として国に提訴したものだ。判決の内容では、入院の長期化は伊藤さんの症状の悪化が影響した可能性があり、精神科特有の制度上の問題ではないということで、原告の請求は棄却された。

原告側は控訴することを決めている。今後の動向に注目したい。

参考として、厚生労働省(20年度「患者調査」)によると、精神疾患の入院患者は28万8千人で、受け入れ先があれば退院できる「社会的入院」は約7万人と言われている。

近年精神科の入院期間も短く定めている病院も多くなる中、あさやけに関わっている方でも、未だに長期の入院をされている方々もいる。一つの要因として、あさやけとかかわりがあっても、ぱたりと連絡がなくなり、気づいたら入院していたり、入院していることすら知らないこともある。地域の相談機関として何とかできないかと思っても、知るすべがないときにはもどかしく思います。ご本人との関係性を第一に、ご家族、訪問看護やヘルパー、日中の通所事業所など、日頃から地域で連携をとってかかわることが改めて大切だと感じています。

あさやけでは、交流や面談を通じて日々関わる中で、調子が悪化し再入院にならないように変化に気づくことや丁寧な対応を心がけていきたい。仮に入院が必要だとしても、伝えてもらえるような関係性を本人と作りたいし、入院が長期にならないような連携をとっていきたい。

参考：令和6年9月30日毎日新聞一部引用/令和6年10月2日東京新聞一部引用

## 支援センター活動報告

### ◆スポーツの時間◆

9月4日(水)のスポーツの時間では、YouTubeを見ながらストレッチ体操を行いました。みんなで身体を伸ばしてスッキリしました！



### ◆音楽の時間◆

9月17日(火)の音楽の時間では、合唱やリズムに合わせて合奏をしました。合唱では、歌える曲が一曲ずつ増えてます♪



## 支援センターからのお知らせ

### ◆元気村まつり中止のお知らせ◆

10月27日(日)の元気村まつりは、元気村が選挙の投票所になる為、中止となりました。  
中止に伴い、お手伝いもございません。  
お申込みいただいたみなさま、申し訳ございません。お申込みありがとうございました。

残念です



### ◆閉所日変更のお知らせ◆

●10月28日(月)は通常通り開所します●

※10月28日(月)は、元気村まつりの振替休日のため閉所日とお知らせしていましたが、元気村まつりが中止のため、通常通り開所日となります。

### ◆電話相談・面談お休みのお知らせ◆

●11月の職員会議●

11月24日(木) 午前10時～13時

毎月第4木曜日の午前中に行っています。

毎月第4木曜日の午前中10時～13時まで、電話相談・面談はお休みです。

電話相談、面談  
はお休みです。



## 地域のお知らせ

令和6年度 精神保健福祉を考える集い

ともにささえ、ともに生きる ～クラブハウスの実践から考える～

日時：令和6年11月16日(土) 午後1時～3時半(12時半開場)

会場：国立精神神経医療研究センター病院  
ユニバーサルホール(車でのご来場はご遠慮ください)

内容：当事者が主体になれる取り組みを通じて、地域で「支えあい」ながら生きるを考える  
参加費：200円(当事者は無料) ※事業所紹介あり

### 【第一部】

『クラブハウスモデルが大切にする「支えあいの支援」の可能性』

出演者：中部学院大学  
人間福祉学部 人間福祉学科  
准教授 加藤大輔(かとうだいすけ)氏

『クラブハウスで感じる支えあい』

出演者：クラブハウス(ゆうせん/サン・マリーナ/はばたき)

### 【第二部】

テーマ：『あなたにとっての支えあい』

出演者：就労生活支援センターほっと  
地域生活支援センターあさやけ  
救護施設黎明寮

主催/小平地域精神保健福祉業務連絡会  
後援/小平市(予定)  
小平市福祉協議会(予定)

問い合わせ/サングリーン  
TEL/042-345-1585(担当:丸山)

## ◆元気村まつり オンライン開催◆

◇元気村まつりは、オンライン開催となりました。

オンライン期間：10月27日(日)～11月3日(日)

元気村まつりサイト <https://afesta.net>

元気村まつりサイトでは、参加団体の活動内容を写真やYouTube動画で紹介します。  
また、参加団体によるイベントを紹介します。

## ◆おだまきのさき織り展示・販売会◆

日時：11月14日(木)～17日(日) 午後12時～18時

場所：鯖猫ギャラリー 吉祥寺駅徒歩5分

※さき織で作ったバッグや小物を多数取り揃えております。

昨年大人気だった「トムテ」「ダイニング靴下」もございます！

お時間のある方はぜひ、足を運んで手に取ってみてください！

問い合わせ：社会福祉法人つむぎ おだまき工房

電話/FAX：042-341-7107

ホームページ：<https://www.odamaki-sakiori.com>





2024年

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3 文化の日
4 振替休日 閉所日	5	6 13:30～15:00 スポーツ	7	8 12:00～14:00 女性の交流室	9 詳細は3ページ	10
11 10:30～11:30 女性のための ・・・書道	12	13	14	15 12:00～14:00 女性の交流室	16 13:00～15:30 業務連つどい 13:30～16:00 サタデー ひだまり	17
18	19 13:30～15:00 音楽の時間	20	21	22 12:00～14:00 女性の交流室	23 勤労感謝の日 閉所日	24
25 10:30～11:30 女性のための ・・・書道	26	27	28 午前中は職員会議のため 電話相談・面談はお休み 14:00～14:30 風の会 14:30～15:30 ピアサポートなかま会	29 12:00～14:00 女性の交流室	30 	

**プログラム**マークのものは事前予約が必要です。

<通常プログラム> 感染予防対策を徹底し時間を短縮したうえで、下記のプログラムを再開します。

- 風の会 ・14時～14時半 センターからのお知らせ、報告会。
- 女性のための書道 ・10時半～11時半 参加費50円。書道を楽しむ会。
- 女子会 ・13時～13時50分 月に1回程度、女性の交流室と合わせて行います。
- ピアサポートなかま会 ・14時半～15時半 テーマに沿って、なかま同士が気持ちや体験を話し合える場。
- 音楽の時間 ・13時半～15時 楽器を演奏してみたい方の持ちこみもOK。

広い会場では距離をとりながら歌もうたいます。聴くだけの参加も大歓迎です。

<臨時プログラム>

- ◆スポーツ・・・・・・・・・・13時半～15時 こだいら元気村体育館にて卓球、バドミントンなどを楽しめる範囲で行っています。